

標準化が進むパッケージのユニバーサルデザイン

シャンプーとリンスを識別するために、シャンプーの容器だけにぎざぎざ状の触覚記号をつけたり、調味料の容器のふたのデザインを変えたり、缶ビールの空け口に点字をつけたりと、パッケージのユニバーサル化が進んできています。しかしながら、消費者からはまだまだ要望が多く、とくに高齢者や障害者から、内容の識別性と開封の不便さについて多くの不満の声があります。

メーカーは高齢者や障害者のニーズへの配慮を行なわなければなりません、各社の配慮方法が異なると、逆に混乱をもたらすことになってしまいますので、配慮方法の標準化が必要です。

ユニバーサルデザイン商品に関わる J I S

パッケージのユニバーサルデザインに関して、「JIS S 0021 高齢者・障害者配慮設計指針—包装・容器」が制定されています。

この規格は、消費生活製品の包装・容器について握力の低下又は視力の衰えが見られる高齢者・視覚障害者を含むすべての人に対し、使用における識別性、使用性の向上を図るための設計指針について規定しています。規定の内容は以下の5点です。

1)開け口、開封部の場所を識別しやすくする配慮

開け口、開封部の場所が視覚的に分かりやすいように、周囲と色彩、コントラストを変えて目立つようにしたり、記号、絵文字又は表示を見やすい適切な書体、サイズ、色彩、コントラストで明示して分かりやすくする。また、触覚で認識できるように、形状又はテクスチャなどで周囲との明らかな差異をつける。

2)内容物の識別をするための配慮

内容物の識別が視覚的に分かりやすいようにグラフィックデザインに配慮するとともに、文字による表示は見やすい適切な書体、サイズ、色彩、コントラストで明示する。また、触覚的に分かりやすいように、触覚記号、切欠き、点字表示、凸記号など併せて明示する。

3)同一又は類似形状の包装・容器の内容物識別のための配慮

- ・飲料用紙パック容器は、開け口と反対側上部の一部を切り欠く。(牛乳パック：扇状切欠き1個、ジュースパック：扇状切欠き2個)
- ・小さな凸、点字又はエンボス加工を入れる。(缶ビール、缶酒など缶入り酒類)
- ・容器のふたのデザインを内容物の種類によって変化をもたせる。(調味料入れなど)
- ・容器の側面にぎざぎざ状の触覚記号を施す。



写真 左：シャンプー 右：リンス

4)開けやすくするための配慮

- ・コーナーを切って内容物を出す方式のフィルム容器は、手で簡単に切れるように、切り口にはくさび形などの切り込みを入れる。
- ・軟包装材でシールされた容器は、十分な大きさの引きはがし用舌部を引っ張ることによって容易に開けられるようにする。
- ・缶のふたは、プルタブ構造とする。
- ・ラッピングフィルムは、開封用短冊などを引いて容易に開けられるようにする。

5)握力が低下した使用者においても使いやすい容器の形状

- ・容器を持ったときの滑り防止のため、全体の重さ・大きさに合った形状とする。
- ・容器の表面に手指が掛かりやすいよう凹凸のリブ、らせん状のリブなどを設ける。



工業技術部 応用技術室 水野金儀 (kaneyoshi_mizuno@pref.aichi.lg.jp)

研究テーマ：輸送中の紙粉発生条件と防止に関する研究

指導分野：物流技術